**国立音楽大学附属図書館**

**2014●図書館展示10月**



**Ave Mariaの世界**

検索・調査メモ追記版（2014.12）

**展示期間●2014年10月1日（水）～11月6日（金）**

**展示場所●図書館ブラウジングルーム・AV資料室**

企画●市川利次（国立音楽大学附属図書館・閲覧参考部）

**Ave Mariaの世界**

グレゴリオ聖歌以来現代音楽作品にいたるまで、膨大な楽曲・作品が存在し、名作が多い「Ave Maria」資料。「Ave Mariaの世界」と題する今回の展示は、その広大無辺な「Ave Mariaの世界」の一端を垣間見ていただきたいと企画いたしました。

「そうした資料をどのように探すのか？」についてもこのパンフレットのト中に記載いたしました。是非、書庫に眠る”Ave Maria”資料を検索し、借り出していただきたいと願っております。

**目次**

1.そもそも“Ave Maria”とは？　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

2.「アヴェ・マリアの祈り」とは？　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

3.“Ave Maria”と関係の深い聖書の箇所　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

4.“Ave Maria”と関係の深い名画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

5.グレゴリオ聖歌にみる“Ave Maria”　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

6.“Ave Maria”を収載する主要グレゴリオ聖歌集を調べるには？　・・3

7.様々な“Ave Maria”作品[当館所蔵資料の極一部]　・・・・・・・・・・・・5

8.パネル紹介　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

企画・構成：市川利次（国立音楽大学附属図書館閲覧参考部）

**1.そもそも“Ave Maria”とは？**

“Ave Maria”には本当に様々な楽曲・作品があるのですが、一体“Ave Maria”とは何？その歴史は？と言うようなことを教えてくれる文献も図書館にはあります。

**『宗教音楽対訳集成』**

井形ちづる, 吉村恒訳 ; 吉村恒編

東京 : 国書刊行会, 2007

請求記号：J112-814

＊p.168に、“Ave Maria” ラテン語、日本語訳が収載されています。

＊p.170-173の「アヴェ・マリア」には、大変重要な指摘が見られます。即ち、「前半はウルガータ訳の引用なので、ほぼ不変です。最初の2行は大天使ガブリエルがマリアに伝えたお祝いのことば（『ルカ』1：28）」で、…ただし、福音書では、おめでとう、めぐみに満ちた　Ave, gratia plena」で、「マリア」の名はありません。…「サンタ・マリーア（聖なるマリアさま）」以下の祈りは、おそらく15世紀に…。後半はさまざまなことばを加えたり、韻文の祈りにパラフレーズするなど、16世紀まではやや流動的でした。

　　11世紀ごろから、この祈りはマリア崇拝とともに民衆のあいだにも広まり、「ロザリオの祈り」が成立しました。…」

・以下の記述も“Liber usualis”を見るときに助けになるの

で重要です。「…グレゴリアン・チャントの旋律は10世紀ごろから伝わるもので、一般的な祈りとして歌われます

（LU.1861）。ミサのオッフェルトリウム（降誕節第4主日［LU.355］や聖母マリアの無原罪の祝日［LU.1318］や挽課のアンティフォナ（聖母マリアの受胎告知の祝日の第2詩編［LU.1416］、聖母マリアのロザリオの祝日［LU.1679］としては、前半だけが異なった旋律で歌われます。）…」。

・p.171-173にかけては、“Ave Maria”の楽曲史・作曲史とも言うべき記述があり、作品の多様性を知ると同時に、楽曲検索・調査の大きな助けとなります。

**『ミサ曲・ラテン語・教会音楽ハンドブック』**

三ケ尻正著

東京 : ショパン, 2001

請求記号：J126-339他

＊イタリア式発音、ドイツ式発音、ラテン語原文、日本語訳が一覧できる点が大変便利です。

**『マリアの3祝日』（バッハ・カンタータの森を歩む / 礒山雅著 ; 1）**

東京 : 東京書籍, 2004

請求記号：J101-499他

＊「“Ave Maria”とは？」という問いに深い関連をもった重要な指摘、論述があると思われるのは「「マリアの祝日」とマリア」（p.024～038）、「Ⅱ.マリアへのお告げの祝日」のp.080-086、「Ⅲ.マリアの訪問の祝日」のp.112-117です。それらの章にかかれたカトリック関係、プロテスタント関係等の文献は、Ave Mariaや音楽、そしてその背景を**調べるための必読書**と言えます。又、この本全体が重要であることは言うまでもありません。　[配布パンフレット以降追記資料]

**2.「アヴェ・マリアの祈り」　とは？**

“Ave Maia”の*楽曲を良く理解するには、その母胎となっている「アヴェ・マリアの祈り」とは何かを知る必要があるかも知れません。*

**『YOUCAT　カトリック教会の青年向けカテキズム』**

東京 : カトリック中央協議会, 2013

請求記号：J126-958

＊p.264傍注に書かれている「アヴェ・マリア　（ラ　Ave Maia＝「恵まれた方、マリア」の意味）。」…冒頭は聖書から取られている（ルカⅠ28、42）。後半の「今も、死を迎える時も…」の部分は、16世紀に加えられた。[異論もあります。]」は重要です。又、480「アヴェ・マリアの祈り」（天使祝詞/聖母マリアの祈り）からは、どんな祈りなのか、どのような日本語訳がふさわしいか等をラテン語とともに知ることができ大変重要です。（2011年、日本カトリック司教協議会は、「アヴェ・マリアの祈り」を正式口語訳としており、文語訳「天使祝詞」、口語訳「聖母マリアの祈り」は公式には用いないと公示しています。）

481「ロザリオは、どのように祈るの？」も重要で、“Ave Maria”を含めたロザリオの祈りはどのようなものであるかを知っておくことは、演奏の際にも決して無駄にはならないと思われます。

\*本格的な調査の場合は、『カトリックのカテキズム』をお調べください。

\*ネット検索できる「ロザリオ-Wikipedia」には、「ロザリオは、聖母マリアへの祈り（アヴェ・マリア）を繰り返し唱える際にその回数を確認するために用いる道具である。」と書かれており、定義、由来、語源、“Ave　Maria”にとっての重要性等を学ぶことができます。特に、「ロザリオの祈り」の図とともに読むと一層理解が進みます。

**"シューベルトの[Ave Maria]を巡って : Ellenの祈りの背景"**

三上かーりん

音楽研究:〔国立音楽大学〕大学院研究年報 9, 129-101, 1997

請求記号：PB102D　9

＊論題の通り、シューベルトの[Ave Maria]を巡っての深い考察がなされています。特に、ロザリオの祈りと“Ave Maria”との関係及び楽曲分析は調査の出発点として重要です。

**3.“Ave Maria”と関係の深い聖書の箇所**

“Ave Maria”にとって大切な聖書の箇所は、「ルカによる福音書」第１章２８節[天使のマリアへの挨拶冒頭]と４２節[エリザベツのマリアへの挨拶冒頭]です。

**"Biblia Sacra juxta Vulgatam Clementinam"**

Romae : Typis Societatis S. Joannis Evang, 1956, c1927

請求記号：J7-957

＊“…Ave gratia plena; Dominus tecum; benedicta tu in mulieribus….”

↑ラテン語聖書には、“Maria”と書かれていません。そのことも含め、ウルガータ訳聖書と“Ave Maria”との関係については、『宗教音楽対訳集成』p.170及び　『Ave Maria : for mixed chorus / supervision of Masakata Kanazawa = アヴェ・マリア曲集 / 金澤正剛校訂・監修版 混声合唱版』の序文「Ave Mariaについて」をお読みください。

**4.“Ave Maria”と関係の深い名画**

《受胎告知》は、名画の源泉としても有名です。同じ聖書箇所を出典としながらも、時代、環境、画家の置かれた立場、個性、制作時の力量によって構図、色使い、ポーズ、しぐさ等が違います。そして、それらは象徴的な意味をもつことが多いのですが、文献により、微妙なところで差異が見られます。今回は、日本図書協会選定図書等評価の高い文献を展示しますが、これらも当館資料中の極一部に過ぎません。実は、聖書と名画を題材とする文献は数多いのですが、中には解説内容に問題のあるものもあります。ですので、一文献に捉われず、数多くの解説文をご覧いただくようお勧めします。

**『名画でみる聖書の世界. 新約編』**

（Kodansha sophia books）西岡文彦著

東京 : 講談社, 2000

請求記号：J91-846

**『「聖書」と「神話」の象徴図鑑』**

岡田温司監修

東京 : ナツメ社, 2011

請求記号：R193/S（参考図書室開架）

**『知識ゼロからのルネサンス絵画入門』**

宮下規久朗著

東京 : 幻冬舎, 2012東京 : ナツメ社, 2011

請求記号：J124-193

**『一冊でわかる名画と聖書』**

船本弘毅監修

東京 : 成美堂出版, 2013

請求記号：J127-074

**『アヴェマリア : マリアの美術』**

矢崎美盛著

東京 : 岩波書店, 1953

請求記号：J127-296

＊キリスト神学には門外漢の美術史研究者にすぎないと著者は序文に書かいていますが、それゆえに、キリスト教信者ではない学生にとっては分かりすいと思われます。古い本ですが、現代の類本にない著者の真摯な書き方が貴重です。

**『受胎告知』**

矢代幸雄著

東京 : 創元社, 1952

請求記号：J127-297

＊キリスト教美術の大テーマのひとつ「アンヌンツィオーネ」。この本は我が国受胎告知研究の名著で、出版年は古くとも多くの受胎告知図（72枚の図例付）に対する綿密な分析（特に、構図）や美術史やキリスト教史を踏まえた卓見（特に意味論等）は、新説、異論があったとしても、今尚、受胎告知研究や“Ave Maria”の基礎研究にとって欠くことのできない必読資料であると言えます。（ただし、新研究についても調べておく必要のあることは言うまでもありません…。）尚、この本は1927年、警醒社書店刊の同名書の再版にあたります。当館は、1927年版は所蔵しないものの、1973年、新潮社刊の第３版本も所蔵しています。（請求記号：J127-309）いずれも今回の展示を機にご寄贈いただいた貴重な資料なので、感謝しつつ、是非学生の皆さんに活用していただきたいと願っております。

**『AVE:天使・聖母マリア・イエス』**

若月伸一著

東京：東京書籍, 2005

請求記号：J127-883

＊特に、p.10-11の「東方三博士の来訪/シュテファン・ロッホナー作」（ケルン大聖堂の祭壇画）は、Schumann：Dichterliebe(シューマン：詩人の恋)　第6曲：Im Rhein, im hailigen Strome（ラインの聖なる流れに）について、紀要論文等でハイネとこの絵の関係について論じられることもあり、重要です。この写真集の絵はかなり芸術的に撮影されていて美しいのですが、ロッホナーの祭壇画については、右記の『世界美術全集　西洋編. 第14巻　北方ルネサンス』に「シュテファン・ロッホナー　マギの礼拝」として絵と作品解説が収載されていますので、ご覧いただくようおすすめします。

『メサイアとクリスマスのうた : メトロポリタン美術館版』

デイヴィド・ウィルコックス編集・編曲 ; 原恵,北村宗次日本語版監修

東京 : 日本基督教団出版局, 1988

カバー（表）に掲載されている『ベリー公の豪華な時禱書』

からの「受胎告知」をはじめ、数々の「受胎告知」が収載されています。それらは、図版解説p.116-119で一覧することができます。

当館参考図書室内資料で、文献等で紹介されている主要な《受胎告知》の収載美術全集と収載巻を参考として以下に挙げます。なお、文献で紹介の多かったLippi（リッピ）の“The Annunciation”は、“Art treasures of the National Gallery, London / Text by Philip Hendy”（請求記号：R708/H（参考図書室開架））p.36に解説とともに収載されています。

**『世界美術全集　西洋編. 第6巻　ビザンティン美術』**

高橋栄一責任編集

東京 : 小学館, 1997

請求記号：R708/SB/6（参考図書室開架）

**『世界美術全集　西洋編. 第10巻　ゴシック. 2』**

佐々木英也,富永良子責任編集

東京 : 小学館, 1997

請求記号：R708/SB/10（参考図書室開架）

**『世界美術全集　西洋編. 第11巻　イタリア・ルネサンス. 1』**

佐々木英也,森田義之責任編集

東京 : 小学館, 1992

請求記号：R708/SB/11（参考図書室開架）

**『世界美術全集　西洋編. 第12巻　イタリア・ルネサンス. 2』**

久保尋二,田中英道責任編集

東京 : 小学館, 1994

請求記号：R708/SB/12（参考図書室開架）

**『世界美術全集　西洋編. 第13巻　イタリア・ルネサンス. 3』**

佐々木英也,森田義之責任編集

東京 : 小学館, 1994

請求記号：R708/SB/13（参考図書室開架）

**『世界美術全集　西洋編. 第14巻　北方ルネサンス』**

勝国興責任編集

東京 : 小学館, 1995

請求記号：R708/SB/14（参考図書室開架）

**『世界美術全集　西洋編. 第15巻　マニエリスム』**

森洋子,若桑みどり責任編集

東京 : 小学館, 1996

請求記号：R708/SB/15（参考図書室開架）

**5.グレゴリオ聖歌にみる“Ave Maria”**

グレゴリオ聖歌の名曲に、どのような“Ave Maria”があるか？を検索・調査するためのヒントとして、以下の日本の楽譜が大変役に立ちます。

**『グレゴリオ聖歌選集』**

十枝正子編著

東京 : サンパウロ, 2004

請求記号：F23-865

**『カトリック聖歌集』**

札幌 : 光明社, 1966　請求記号：F3-741他

**『グレゴリオ聖歌集』**

広島 : エリザベト音楽大学宗教音楽学科グレゴリアン研究室, 1980　請求記号：F6-255

**6.“Ave Maria”を収載する主要グレゴリオ聖歌集を調べるには？**

**"An index of Gregorian chant"**

compiled by John R. Bryden and David G. Hughes.

Cambridge : Harvard University Press, 1969

請求記号：X-083/B/1、X-083/B/2（参考図書室開架）が大変役に立ちます。

＊当館コミュニケーション誌『Parlando ぱるらんど』163に紹介記事があります。

＊特に、このindexが“The Source”に挙げた聖歌集[出版社の後にNo.をつけました。]については、v. 1. Alphabetical index を利用すると便利に“Ave Maria”を収載する主要グレゴリオ聖歌集を調べることができ収載頁に辿りつくことができます。

＊具体的手順を“Sancta María…,　nunc et in hora mortis nostrae. Amen”までついた“Ave Maria”を探す場合を例にして以下に書きます。

①まず、“Ave Maria　gratia plena…sancta Maria”を探します。

②当該項目で、“1　Ave Maria　gratia plena…sancta Maria　　an AR 123\* LU 1861 F -5 -3 4 5 4 2 0 2 D ”のように

・「旋法」　・「楽曲のカテゴリー」　・「開始音-インチピット-終止音」　・「収載聖歌集　収載箇所」を確かめます。

・最初の1は旋法(Mode)を表しています。

・次はTextual incipitですが、歌い出し、“Ave Maria”で始まる楽曲は数多くあるので、本件の場合は、“sancta Maria”まで確認し、当該項目を見定めます。

・次のan は、“Category to which the chant belongs”を表すと、この本は規定しており、この本の項目記載説明の箇所では、“Abbreviations Categories of Chant”の一つで、anはantiphonの略と説明しています。

・その次のAR 123\* LU 1861が重要で、厳密には、この本の“The Sources”で規定しているグレゴリオ聖歌集やその収載頁を表しています。ですので、特に、探している楽曲が見つかった場合でも、当該聖歌集を“The Sources”にまで戻ってしっかり確認してからOPAC等の検索をする必要があります。

・次の“F -5 -3 4 5 4 2 0 2 D”で、開始音、冒頭の旋律線（インチピット“Melodic incipit”）、終止音を確認できます。

[各聖歌集のindex等を使って当該楽曲を探す方法もありますが、**"An index of Gregorian chant"**で調べられる楽曲については、この参考図書を利用した方が、迅速、確実に楽曲に辿りつけます。]

**"Antiphonale monasticum pro diurnis horis juxta vota RR. DD. Abbatum Congregationum Confoederatarum Ordinis Sancti Benedicti"**

a Solesmensibus monachis restitutum

Parisiis : Desclée No. 818, 1934

請求記号：F1-681他

**"Antiphonale sacrosanctae Romanae Ecclesiae pro diurnis horis"**

Tournai : Declée　No. 820, 1949

請求記号：F1-565

[**"An index of Gregorian chant"**の略号**AR**と対応するのは、Declée　No. 820で後述のＦ3-524ではありません。]

**"Graduale sacrosanctae romanae ecclesiae de tempore et de sanctis SS. D. N. Pii X. pontificis maximi"**

Parisiis : Desclée No. 696, 1961

請求記号：F1-577

**"The Liber usualis, with introduction and rubrics in English"**

edited by the Benedictines of Solesmes.

Tournai ( Belgium, ) ; New York : Desclée No. 801, 1963

請求記号：F1-578

**"Liber usualis missae et officii pro dominicis et festis cum cantu gregoriano ex editione vaticana adamussim excerpto et rhythmicis signis in subsidium cantorum a solesmensibus monachis deligenter ornato"**

Parisiis : Desclée & Socii No.780, 1964 [c1953]

請求記号：F3-855他

[**"An index of Gregorian chant"**による聖歌集調査等の場合、その同定・確認のためDesclée No.が重要となることがあります。“**Liber usualis**”で言うと、Desclée No. 801が“The Sources”に規定されている聖歌集です。…が、調査した限りでは、Desclée & Socii No.780も**"An index of Gregorian chant"**に書かれた聖歌集の楽曲収載頁等と実際頁等は一致するようです。]

以下は、当館所蔵主要グレゴリオ聖歌集ですが、“An index of Gregorian chant”では扱われていない資料です。

**"Antiphonale sacrosanctae Romanae Ecclesiae pro diurnis horis"**

Romae : Typis Polyglottis Vaticanis, 1912

請求記号：F3-524

**"Graduale triplex"**

neumis Laudunensibus (cod. 239) et Sangallensibus (codicum San Gallensis 359 et Einsidlensis 121) nunc auctum.

Solesmis : Abbaye Saint-Pierre de Solesmes, 1979, 1985 printing

請求記号：F11-076他

**"Graduale Novum, editio magis critica, iuxta SC 117, seu, Graduale sanctae Romane ecclesiae Pauli PP. VI cura recongnitum, ad exemplar : ordinis cantus missae dispositum, luce codicum antiquiorum restitutum nutu sancti oecumenici concilii Vaticani II, neumis laudunensibus et sangallensibus ornatum "**

Regensburg : ConBrio ; Vaticana : Libreria editrice, 2011-

請求記号:J119-746/（1）

内容Tomus 1. De dominicis et festis

**"Graduale simplex"**

[Vatican City] : Typis Polyglottis Vaticanis, 1975

請求記号：F14-829他

**"Antiphonaire monastique "**（Paléographie musicale : les principaux manuscrits de chant grégorien, ambrosien, mozarabe, gallican : publiés en fac-similés ｓphotographiques ; 9）

Berne ( Edition H. Lang ) , 1972

請求記号：A7-214

叢書楽譜“Paléographie musicale”の一冊ですが、この巻の他にも“Ave Maria”を収載するCodex等があります。

**"Graduale Romanum"**

Abbé Ferdinand Portier

Solesmes : Abbaye Saint-Pierre de Solesmes, 1984-1986

請求記号：F14-874/（1）　Ｆ14-875/（2）　Ｆ22-678/（3）

オルガン付グレゴリオ聖歌集です。

**7.様々な“Ave Maria”作品[当館所蔵資料の極一部]**

当館OPACのタイトルに“Ave Maria”と入力し、検索すると、2014年10月現在、1435件の検索結果が得られます。実は、これ以外にも当館は、楽譜名やＣＤタイトルを特定しないとOPACだけでは探しきれないグレゴリオ聖歌集中のものや、叢書楽譜（特に、“Paléographie musicale”）中の楽曲等実に多くの“Ave Maria”を所蔵しております。

有名曲を挙げるだけでも、展示スペースが足りないので、今回は、“Ave Maria”多く含む楽譜集や美しめの楽譜等を中心に展示させいただくことにいたしました。

グレゴリオ聖歌も含めた“Ave Maria”にどんな名曲があるかを日本語で調べるには、本パンフレットの1.の文献や次の楽譜の中の日本の出版社の楽譜が大変参考になります。

**『アヴェ・マリア : グレゴリオ聖歌から近代まで : 混声合唱版』**

松原千振監修・解説

東京 : 全音楽譜出版社, 2011

請求記号：F26-423

**『アヴェ・マリア曲集』**

金澤正剛校訂・監修

Tokyo : Edition KAWAI, 2000

請求記号：F21-558

**"Ave Maria : 33 pieces from old and modern times"**

herausgegeben von Klaus Heizmann and Wilhelm Lüttich

Mainz ; Tokyo : Schott, 2011

請求記号：F26-326

内容 Ave Maria / Nicolas Gombert -- Ave Maria / Jacobus Arcadelt -- Ave Maria / Tomás Luis de Victoria -- Ave Maria / Johannes Mignon -- Ave Maria / Gregor Gerwazy Goreczycki -- Ave Maria / Aemilian Rosengart -- Ave Maris stella ; Salve Regine / E. T. A. Hoffmann -- Ave Maria / Simon Sechter -- Deutsches Salve Regina ; Salve Regina / Franz Schubert -- Ave Maria / Franz Liszt -- Ave Maria / Giuseppe Verdi -- Ave Maria / Peter Josef Zwyssig -- Ave Maria / Charles Gounod -- Ave Maria / Anton Bruckner -- Der englische Gruss / Johannes Brahms -- Ave Maris stella / Edvard Grieg -- Ave Maria / Karl May -- Angelus "Ave, Mary" / Edward Elgar -- Ave Maria / Igor Stravinsky -- Ave Maria / Carl Orff -- Ave Maria / Hermann Schroeder -- Ave Maria / Raimund van Husen -- Ave Maria / Harald Genzmer -- Mitten in unsrer Nacht blüht eine Blume / Johannes Jourdan -- Ave Maria / Klauss Fischbach -- Ave Maria / Rolf Schweizer -- Lasst uns den Weg Marias gehen ; Meine Seele erhebt den Herrn / Klaus Heizmann -- Ave Maria / Richard Josef Sigmund -- Ave Maria / Hans Schanderl -- Ave Maria / Margarete Sorg-Rose

**『ピアノと歌うアヴェ・マリア』**

東京 : ヤマハミュージックメディア, 2009

請求記号：F25-865

内容 Ave Maria / J. Arcadelt -- Ave Maria / G. Caccini -- Ave verum Corpus / W.A. Mozart -- Ave Maria / L. Luzzi -- Ave Maria / F. Schubert -- Ave Maria / C. Gounod/J.S. Bach -- Ave Maria / C. Gounod/J.S. Bach -- Ave Maria / J. Brahms -- Ave Maria / F. Tosti -- Ave Maria / A. Bruckner -- Ave Maria : Otello / G. Verdi -- Cavalleria rusticana intermezzo sinfonico / P. Mascagni -- Ave Maria / C. Saint-Saëns -- Pie Jesu / A. Lloyd-Webber

**"Arie sacre : sacred arias for high voice"**

Milano : Ricordi, c2009

請求記号：F25-766

**"Ave Maria and other great sacred solos "**

edited by Rollin Smith

Mineola, N.Y. : Dover Publications, 2004

請求記号：F23-639

**『リーダーシャッツ21』**

JCDA日本合唱指揮者協会編

Tokyo : Edition Kawai, 2003

請求記号：F23-259

**『新リーダーシャッツ　混声合唱』**

日本合唱指揮者協会編

東京 : 河合楽器製作所・出版事業部, 1993

請求記号：F18-741

**『カワイ・リーダーシャッツ 混声合唱』**

日本合唱指揮者協会編

東京 : カワイ出版, 1984

請求記号：F12-884

**"Ave Ｍaria, gratia plena : Latin Ave Maria settings of the 19th and early 20th century "** herausgegeben von Peter Wagner

Kassel : Bärenreiter, c2002

請求記号：F22-792

内容 Alain, Jehan -- Battistini Mattia -- Bizet, Georges -- Blazy, Maurice -- Bruckner, Anton -- Cherubini, Luigi -- Dvorák, Antonín -- Fauré, Gabriel -- d-Moll ; C-Dur / Franck, César -- Goller, Vinzenz -- Gounod, Charles -- Guilmant, Félix-Alexandre -- Hanau, A.W.P. -- Heydt, Willem -- Liszt, Franz -- Philip, Achille -- Potiron, Henri -- op. 157/6 ; op. 171/1 / Rheinberger, Joseph Gabriel -- G-Dur ; F-Dur / Saint-Saëns, Camille -- Scheel, Josef -- Schrijvers, Jean -- Schubert, Franz -- Stolz, Robert

**『アヴェ・マリア : ヒーリング・ソングス』**

Tokyo : Ongaku no Tomo sha : 2001

請求記号：F22-393

内容 Ave Maria / J. Arcadelt -- Jesus, joy of man's desiring / J.S. Bach -- Ave Maria / G. Caccini -- Agunus Dei ; Ave verum corpus / W.A. Mozart -- Ave Maria / L. Cherubini -- Ave Maria / H. Marschner -- Ave Maria : 2重唱 (TB) / G. Donizetti -- Ave Maria / F. Schubert -- Ave Maria : オペラ「オテロ」第4幕から / G. Verdi -- Ave Maria / G. Verdi -- Ave Maria / J.S. Bach ; C. Gounod -- Panis Angelicus / C. Franck -- Ave Maria / A. Bruckner -- Ave Maria / C. Saint-Saens -- Ave Maria / L. Luzzi -- Pie Jesu / G. Faure -- Ave Maria / P. Tosti -- Ave Maria / M. Battistini -- Ave Maria : オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲から / P. Mascagni -- Pie Jesu : 2重唱 (S,boy), 混声4部合唱付 / Lloyd Webber　　　　[カッチーニのアヴェ・マリアについては現在偽作説が強くだされています。]

**『アヴェ マリア : 全曲CD付』**

Tokyo : Chopin, 1999

請求記号：F21-235他

注記 歌詞: ラテン語, イタリア語, ドイツ語

編曲: いとうたつこ 歌詞対訳: 秋岡陽

付: テキスト (日本語対訳付)

内容 Ave Maria / G. Caccini -- Ave Maria / G. Verdi -- Ave Maria / Saint-Saëns -- Ave Maria / C. Gounod -- Ave Maria / F.P. Tosti -- Ave Maria / F. Schubert -- Ave Maria / P. Mascagni -- Ave Maria / L. Cherubini -- Salve, Maria / S. Mercadante -- Ave Maria / J. Arcadelt -- Ave verum corpus / W.A. Mozart

**" European sacred music"**

edited by John Rutter

Oxford : Oxford University Press, c1996

請求記号：F20-149

内容：Bogoroditsye Dyevo = Ave Maria / Rachmaninov –

Ave Maria / Stravinsky -- Ave Maria / Verdi -- Ave Maria / Victoria.他が収載されています。

**"Ave Maria : vocal album"**

Moscow : Muzyka ; Tokyo : Schott, c1994

請求記号：F19-623

内容 Ave Maria: Gregorianisches Choral -- Ave Maria / G. Caccini -- Ave Maria / L. Cherubini -- Ave Maria / H. Marschner -- Ave Maria ; Salve Regina / F. Schubert -- Cujus aninam: arie dal Stabat Mater / G. Rossini -- Ave Maria / G. Donizetti -- Angiol di pace / V. Bellini -- Cantique de Noël / A. Adam -- O santissima Vergine ; Canto popolare Toscano / L. Gordidgiani -- Gebet der Elisabeth: aus der Oper Tannhäuser -- Repentir: Priére / Ch. Gounod -- Ave Maria: Volgarizzata da Dante / G. Verdi.他

**Ave Maria and other great sacred solos : 41 songs for voice and keyboard / edited by Rollin Smith**

Mineola, N.Y. : Dover Publications, 2004

請求記号：F23-639

収載されているSchubert“Ave Maria”には、英語、ドイツ語、[ラテン語祈祷文に基づく]ラテン語の歌詞がついています。他に、Franck,Gounodの“Ave Maria”も収載されています。[配布パンフレット以降追記資料]

ちなみに、シューベルト：アヴェ・マリアは、当館の典拠標目（≒正式名称）は、“Ellens Gesang, D. 839（エレンの歌, Ｄ．８３９）”ですが、“Ellens Gesang III（エレンの歌　III）”や“Ave Maria”等からも検索できるようにしています。

なお、ラテン語歌詞付の楽譜を検索するときは、以下のようにしますが、最終的には、楽譜そのもので確認する必要があります。



**"The Spanish school : for 4 voices"**

edited by Anthony G. Pett

London : Chester Music, c1989

請求記号：F17-827

**『典礼聖歌』**

東京 : あかし書房, 1980

請求記号：F14-419他

＊典礼聖歌番号371「しあわせなかたマリア」は“Ave Maria”と呼ばれることがあります。

この楽曲の作詞は、典礼聖歌編集部、作曲は、本学名誉教授、故髙田三郎先生です。

**『典礼聖歌』**

高田三郎作曲

東京 : オリエンス宗教研究所, 2004

請求記号：F23-866

＊収載されている「お告げの祈り」は、"Ave Maria "と

　深い関係があります。

**"Ave Maria"**

Johannes Ockeghem

New York : NDC Editions : Sole agents, C.F. Peters, c1998

請求記号：F21-663

**"Ave Maria"**

Josquin Desprez

New York : NDC Editions : Sole agents, C.F. Peters, c1998

請求記号：F21-658

**"Ave Maria"**

G.P. da Palestrina

New York : NDC Editions : C.F. Peters, sole selling agent, c1999

請求記号：F21-671

＊5声の“Ave Maria”です。なお、全集A1-475は、4声“Ave Maria”を2曲収載しています。

**"Thomas Ludovici Victoria Abulensis opera Omnia : Tomus Ⅶ Ⅷ"**

Ridgewood, N.J. : Gregg press, Inc., 1966

請求記号：A2-008

＊Tomus Ⅷ　p.4 のCantus冒頭の**"Ave Maria"**は“**Liber usualis**”In Honour of the Blessed Virgin Mary.[In honorem B.Mariae virginis.]　 Ave Maria.\* 1.　[LU 1861]冒頭と同旋律です。

**"Ave Maria"**

Gioacchino Rossini

Altötting : A. Coppenrath, c1992

請求記号：F18-659

**"Quattro pezzi sacri（Ave Maria-- Stabat Mater -- Laudi alla Vergine Maria -- Te Deum）"**

Giuseppe Verdi

Stuttgart : Carus, [2013]

請求記号：H50-415

**"Liszt, piano music inspired by women in his life"**

edited by Maurice Hinson

Van Nuys, CA : Alfred Publishing, c1990

請求記号：G23-304

＊ピアノ曲集ですが、“Harmonies poétiques et religieuses, S. 173. No. 2. Ave Maria (Hail Mary)”の五線譜上部欄外にラテン語祈禱文の言葉が付加されています。

**"Sept chants religieux"**

Camille Saint-Saëns

Stuttgart : Carus, c2004

請求記号：F23-783

**『混声合唱のためのアヴェ・マリア』** 細川俊夫

Mainz : Schott ; 東京 : 日本ショット, 1991　請求記号：F17-136

**『アベ・マリア ; 聖母讃歌』**

シャール・グーノオ作曲 ; 柴田柴庵譯歌

東京 : セノオ音樂出版社, 大正9 [1920]

請求記号：F15-881　[竹久夢二表紙画]

**『歌劇「オセロ」中のアベ・マリア』**

Giuseppe Verdi作曲 ; 妹尾幸陽譯詞

東京 : セノオ音樂出版社, [1927]

請求記号：F4-135　[表紙画作者不明]

**『正教聖歌 : 徹夜祷 : 日々にこころで歌う祈り』**

東京 : 東京復活大聖堂, [2002]

請求記号：F27-953

＊収載されているトロバリ讃詞「生神童貞女や…」(25

)冒頭は、「ルカによる福音書」第１章２８節[天使のマリアへの挨拶冒頭]と４２節[エリザベツのマリアへの挨拶冒頭]と深く関連します。

**『The complete sacred choral works / Sergei Rachmaninoff ; Vladimir Morosan, editor-in-chief.**

**シリーズ Monuments of Russian sacred music. Series IX ; v. 1/2』**

Madison, CT : Musica Russica, c1994

請求記号：A10-669

注記 For unacc. chorus (SATB with divisi); includes piano reduction for rehearsal only. Church Slavic words (Cyrillic and romanized); also printed as text (romanized) with English translation preceding each piece. 　 Commentary in Russian and English.

内容 The All-night vigil, opus 37.他

＊ラフマニノフの「アヴェ・マリア」と呼ばれることのある第６曲「生神童貞女（しょうしんどうていじょ）や慶べよ」も収載されています。なお、**『正教聖歌 : 徹夜祷 : 日々にこころで歌う祈り』**中の「生神童貞女やよろこべよ…」の旋律とは違う旋律です。

**8.パネル及び展示資料紹介**

**イコン　受胎告知**

**12世紀末　エジプト,シナイ山, アギア・エカテリニ修道院**

出典：高橋栄一責任編集『世界美術全集　西洋編. 第6巻　ビザンティン美術』　（vol.6-132）

（請求記号：R708/SB/6（参考図書室開架））

玉座に座り糸紡をもつ聖母、左手を胸に当惑したように見えます。人体の非物資化表現と聖母の繊細な表情、衣の襞にも12世紀の特徴が見られると解説にありました。（作品解説「87.イコン　受胎告知」（長塚安司）vol.6-382 参照）

**イコン　受胎告知**

**14世紀末　マケドニア, オフリド, イコン美術館**

出典：高橋栄一責任編集『世界美術全集　西洋編. 第6巻　ビザンティン美術』　（vol.6-194）

（請求記号：R708/SB/6（参考図書室開架））

左手に糸巻をもち、右手はお告げに従うことを示しており、上半身わ

ずかな動きに処女の驚きとためらいが見られるそうです。（作品解説

「138.イコン　受胎告知」（益田朋幸）vol.6-400～401 参照）

**サン・ピエトロ祭壇画の画家　受胎告知**（サン・ピエトロ祭壇画部分）

1280年代中頃　イタリア, シェーナ, 国立絵画館

出典：佐々木英也,富永良子責任編集『世界美術全集　西洋編. 第10巻　ゴシック. 2』　（vol.10-118）

（請求記号：R708/SB/10（参考図書室開架））

「…人物の表現も、背景の建物や色彩も、イタロ＝ビザンティン美術の伝統に基づいているが、…ユーモアの感覚と活力でもって個性あふれる世界をつくりだしている。」そうです。（作品解説「62.サン・ピエトロ祭壇画の画家　受胎告知（サン・ピエトロ祭壇画部分）」（石鍋真澄）vol.10-373 参照）

**シモーネ・マルティーニ　受胎告知**（部分）

1333年　フィレンツェ,ウフィツィ美術館

出典：佐々木英也,富永良子責任編集『世界美術全集　西洋編. 第10巻　ゴシック. 2』　（vol.10-132）

（請求記号：R708/SB/10（参考図書室開架））

天使の口から発される“Ave gratia…”[ウルガータ訳ラテン語聖書

のまま]が“Ave Maria”との関係で最大の注目点。天使が通常もつ聖

母の純潔の象徴白百合は、この絵ではオリーヴの小枝で、白百合は背

後の花瓶に挿されています。その理由は？…作品解説に書かれていま

す。是非お読みください。（作品解説「76.シモーネ・マルティーニ　受

胎告知（部分）」（石鍋真澄）vol.10-379参照）

**エクスの受胎告知の画家（パルテルミー・デック？）**

**エクスの受胎告知三連祭壇画復元図（中央パネル）**

1443～45年頃　 フランス, エクサン・プロバンス, サントマドレーヌ聖堂

出典：佐々木英也,富永良子責任編集『世界美術全集　西洋編. 第10巻　ゴシック. 2』　（vol.10-310）

（請求記号：R708/SB/10（参考図書室開架））

聖堂玄関廊の聖母に、左手小部屋の天使よりお告げがなされています。

小部屋の上の神の口より、光が出て聖母の頭上に注いでいます。目を

凝らすと光の上に十字架を担っている幼児が見えるそうです。

(作品解説「164.エクスの受胎告知の画家（パルテルミー・デック？）

受胎告知（三連祭壇画中央パネル）」（冨永良子）　vol.10-412参照)

**フラ・アンジェリコ　受胎告知**

1440年代前半　フィレンツェ, サン・マルコ美術館

出典：佐々木英也,森田義之責任編集『世界美術全集　西洋編. 第11巻　イタリア・ルネサンス. 1』　（vol.11-152）

（請求記号：R708/SB/11（参考図書室開架））

マリアも天使もともに両手を交差させています。イタリア・ルネサン

ス期「受胎告知」の代表作で、画面の下縁にラテン語で「その前を通

って汚れなく完全な聖処女の御姿を仰ぐとき、アヴェ・マリアを唱え

ることを忘れぬよう心せよ」という意味の文字が記されているそうで

す。（作品解説「55. フラ・アンジェリコ　受胎告知」（佐々木英也）

vol.11-399-400 参照）

**ボッティチェリ　受胎告知**

1488～89年　フィレンツェ, ウフィツィ美術館

出典：佐々木英也,森田義之責任編集『世界美術全集　西洋編. 第11巻　イタリア・ルネサンス. 1』　（vol.11-281）

（請求記号：R708/SB/11（参考図書室開架））

石造りの部屋で、マリアは書見台に片足をかけ、身を弓なりにして動顛したかのように見え、天使は白百合を手にひざまづいています。背景の水辺風景にも聖母礼賛の連禱句、雅歌、イザヤの預言との関連があるとする見解があるそうです。（作品解説「144．ボッティチェリ」（佐々木英也）vol.11-438～439 参照）

**レオナルド・ダ・ヴィンチ　受胎告知**

1472～73年頃　フィレンツェ, ウフィツィ美術館

出典：久保尋二,田中英道責任編集『世界美術全集　西洋編. 第12巻　イタリア・ルネサンス. 2』　（vol.12-22～23）

（請求記号：R708/SB/12（参考図書室開架））

迫力の大画面で見る受胎告知はさすがにレオナルド・ダ・ヴィンチの

傑作！と言いたいところですが、異論が出されています。そのため「伝

レオナルド・ダ・ヴィンチ」とする文献もあります。しかしながら、

この本の作品解説は、「[ダ・ヴィンチ説以前に作者と見られていた画

家]ギルランダイオが生涯しえなかった清らかな音楽性…」等を理由

に「ここでのレオナルドの介在は動かせない。」と力強く結んでいま

す。（作品解説「2.レオナルド・ダ・ヴィンチ　受胎告知（久保尋二）

vol.12-366～367参照）

**アルベルティネッリ　受胎告知**

1510年　フィレンツェ, アカデミア美術館

出典：久保尋二,田中英道責任編集『世界美術全集　西洋編.

第12巻　イタリア・ルネサンス. 2』　（vol.12-245）

（請求記号：R708/SB/12（参考図書室開架））

神、天使、人物満載の受胎告知。天使の奏楽は、様々な楽器とともに神を見るもの、聖母を見るものと実に多彩です。聖霊の鳩からは一筋の光が差し、聖母は左手を胸に、右手に書物をもっています。天の華やかさに比して聖母の衣服は赤、青を使わず地味ですが、お告げの天使は上着の白が目立っています。天使は左手に白百合、右手は人指し指を挙げています。（作品解説「151.アルベルティネッリ　受胎告知」（田中英道）vol.12-427参照）

**クリヴェッリ　受胎告知**

1486年　ロンドン, ナショナル・ギャラリー

出典：佐々木英也,森田義之責任編集『世界美術全集　西洋編.

第13巻　イタリア・ルネサンス. 3』　（vol.13-42）

（請求記号：R708/SB/13（参考図書室開架）

聖母は胸に両手を交差し、書物を読んでいます。天上から、聖霊の鳩を伝い聖母の頭上に光が一筋注いでいます。天使の脇には、絵を発注したアスコリ市の守護聖人エミディウスが市の模型をもって寄り添っています。背景に書かれる建物や人物、事物にも様々な意味が込められているようですが、全体に穏やかな風が吹き、平和（ex:クジャク）と祝祭の雰囲気が漂っているように見えます。この絵はアスコリ・ピチェーノ市のアンヌンツィアータ聖堂に置かれていたもので、同市が教皇庁から行政的自治権の認可を得たことを記念してクリヴェッリに発注したものと作品解説に書かれています。なお、受胎告知を主題にしたのは、教皇庁の使者の到着が受胎告知の祝日であったのことです。部屋の左柱の下に作者の名前、右柱の下に制作年1486が読め、画面全面には、アスコリ市、ローマ教皇、アスコリの市長らの紋章とLIBERTAS ECCLESIASTICAの文字が描かれています。（作品解説「10.クリヴェッリ　受胎告知」（佐藤康夫）

**ヤコポ・ベリーニ　受胎告知**

1444年　イタリア, ブレーシャ, サンタレッサンドロ聖堂

出典：佐々木英也,森田義之責任編集『世界美術全集　西洋編. 第13巻　イタリア・ルネサンス. 3』　（vol.13-97）

（請求記号：R708/SB/13（参考図書室開架））

聖母は胸に両手を交差し、書物を読んでいます。天使は右手を挙げ、天使の口から発せられた言葉[ラテン語]が空間に描かれています。「…二人の衣服、壁掛け、マリアが膝をついている東方カーペット、錦織りのような天使の翼など華美を尽くした道具立て…」と作品解説に書かれています。（作品解説「38.ヤコポ・ベリーニ　受胎告知」（佐々木英也）vol.13-384 参照）

**アントネッロ・ダ・メッシーナ　受胎告知のマリア**

1473～74年頃　イタリア, パレルモ, 州立シチリア美術館

出典：佐々木英也,森田義之責任編集『世界美術全集　西洋編. 第13巻　イタリア・ルネサンス. 3』　（vol.13-118）

（請求記号：R708/SB/13（参考図書室開架））

「…お告げを静かに受け止める青いマント姿のマリアのイメージは、どこか肖像画のような強いリアリティをもっている。」そうです。（作品解説「アントネッロ・ダ・メッシーナ　受胎告知のマリア」（森田義之）vol.13-395参照）

**ロット　受胎告知**

1527年頃　イタリア, レカナーティ（マルケ）, 市立絵画館

出典：佐々木英也,森田義之責任編集『世界美術全集　西洋編. 第13巻　イタリア・ルネサンス. 3』　（vol.13-220）

（請求記号：R708/SB/13（参考図書室開架））

マリア、天使ともに正面向きというユニークな構図の受胎告知。聖母

は両手を開いて挙げ、天使は右手を上に左手に白百合をもって片膝立

ちです。猫はあわてふためき、顔も可愛く書かれていないので、作品

解説には「…天使の出現に驚いた猫は（邪悪のシンボルか）、鼻面を

向け背を丸めて逃げようとしているが、これらが一体となって、一種

異様な雰囲気がこの場面につくり出されている。」と書かれています。

（作品解説「104.ロット　受胎告知」（篠塚二三男）　vol.13-418～

419参照）

**ローベール・カンパン　受胎告知の祭壇画**（メローデ祭壇画）

1425～30年頃　ニューヨーク，メトロポリタン美術館

出典：勝国興責任編集『世界美術全集　西洋編. 第14巻　北方ルネサンス』　（vol.14-36～37）

（請求記号：R708/SB/14（参考図書室開架））

中央パネル、マリアは読書中で、天使に気づいていないように見えま

す。タオル、金属性水差しは聖母の純潔を表すそうです。右翼部はヨ

セフの仕事場、窓の外にネズミ取り、その他の道具にも意味があるよ

うですが、諸説あるそうです。（作品解説「21.ローベール・カンパン

受胎告知の祭壇画（メローデ祭壇画）」（荒木茂子）vol.14-376参照）

**エル・グレコ　受胎告知**

1596～1600年　マドリード, 国立プラド美術館

出典：森洋子,若桑みどり責任編集『世界美術全集　西洋編. 第15巻　マニエリスム』　（vol.15-203）

（請求記号：R708/SB/15（参考図書室開架））

聖母の前にあるのは、旧約聖書出エジプト記由来の「燃える柴」。聖母は両手を開き、天使は両手を交差させ胸に置いています。大原美術館所蔵のエル・グレコ《受胎告知》と比較すると様々な違いや共通点が見えてきます。（作品解説「99.エル・グレコ　受胎告知」（岡田裕成）vol.15-398～399）

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ　見よ、我は主のはした女なり　（聖告）　[受胎告知]

[この絵については、展示スペースの関係で、ポスト・カードを用いました。この絵を収載する図書の書誌詳細は以下の通りです。]

1849-50年　テイト・ギャラリー、ロンドン

馬淵明子責任編集『世界美術全集　西洋編. 第21巻　レアリスム』（vol.21-193） （請求記号●R708/SB/21（参考図書室開架））

[受胎告知]図では、天使顕現やその時マリアが[戸外か、屋内か、…]どこにいて、どういう位置関係なのか？は重要なポイントですが、こ

の絵のマリアは、白壁の片隅のベッドに座り、白衣を着ています。

その上で、[マリアの着衣の]伝統の赤（赤地に白百合の刺繍）は前景に、奥の景には青も見て取れます。左方に浮かぶ無翼の天使ガブリエルはユリを右手に持ち、祝福は左手（祝福のポーズも伝統とは違っています。ベアト・アンジェリコ等をご覧ください。）で行っています。少女の視線は、天使の花に向かうも、手は垂れており（ちなみに胸での両手交差は受け入れのポーズ）、目及び顔は畏れの表情を見せつつ複雑微妙です。天使の顔は暗く描かれ見えづらいのですが、目を閉じ

端正な顔に静けさをたたえているようにも見えます。画家のミドル・ネームが「ゲイブリエル」というのも興味深い点ではあります。伝統・

因習・反復への反感からか、ラファエロ批判、社会的反抗感をもつと言われるラファエル前派。この絵にもそうした傾向が滲み出しているような気がします…？ロセッティは後年この絵をたびたび“白い絵”と呼んだそうです。そしてその理由は？……是非、『世界美術全集　西洋編. 第21巻　レアリスム』を開き、絵を見、作品解説を読み、更に、本文“第５章　ラファエル前派とヴィクトリア朝絵画”をお読みください。（聖告）に秘められた様々な問題点が垣間見えてきます。

パンフレット表紙・ポスターの画像

The Annunciation Created by Guido di Pietro (Piero) known as Beato Angelico

Credit：Mondadori Electa / Learning Pictures / Universal Images Group

出典：Britannica ImageQuest

●展示パンフレットは図書館ホームページからも入手できます。（バックナンバーも公開しています。）

<http://www.lib.kunitachi.ac.jp/tenji/tenji.htm>

**2014/10/1　編集●国立音楽大学附属図書館広報委員会　：　三宅巌・古庄もも**

●展示パンフレットは図書館ホームページからも入手できます。（バックナンバーも公開しています。）

<http://www.lib.kunitachi.ac.jp/tenji/tenji.htm>

**2014/10/1　編集●国立音楽大学附属図書館広報委員会　：　三宅巌・古庄もも**